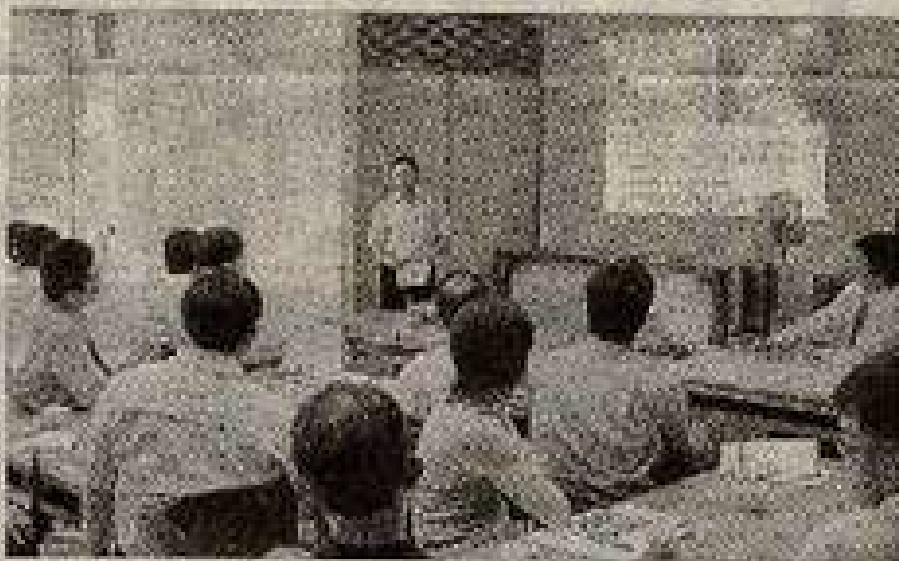


環境保全、企業も盛り上げて



事業者ができる環境保全の取り組みを考える参加者たち（京都市伏見区・京エコロジーセンター）

伏見中小事業者が学習習合会

地域で環境保全に取り組みようとしている府内の中小事業者を対象にした学習会が十四日、京都市伏見区の京エコロジーセンターで開かれた。

市内の事業者や環境団

体「京のアジェンダ21フォーラム」「南区」などでつくる「京都環境コミュニティ活動プロジェクトチーム」が企画した。チームは昨年からの活動を始め、四社が参加して小

学校で出前授業を行った。今年には植林や太陽光発電装置の寄贈も予定しており、協力事業所を増やそうと学習会を開いた。

この日は、二十以上のメーカーや大学などが参加した。環境保全に取り組む市民団体関係者らが太陽光発電装置の寄附や、植林活動の現状などのほか、事業者がどう協力できるのかを説明。「地域や学校との協力で、環境保全だけでなく、事業のPRにもなる」との説明もあった。参加者たちは熱心に聞き入っていた。

チームのプロシエクトリーダーを務める学生服店経営の長屋博久さんなどは、「中小だけではなかなか活動できないが、数社集まればできる。踏み出すのは難しいが、ぜひ参加してほしい」と話していた。

（久保田昌洋）